

**特報** 土のう作りに役立つアイテム。その名も・・・

## 『らくらく土のうマシン 1・2・3』

☆前回の講習会にて土のうを作る際に使用しました、  
アイテムの材料・作り方について紹介します。

・目印(テープ)があるので、**一人でかんたん**に、同量の土のうが作れます。

・表面



・裏面



・袋に入った「1・2・3」



### ・材料の特徴

- ・耐水性に優れているので、汚れが付きにくく、お手入れ簡単！
- ・表面がツルツル、裏面はザラザラ！！ ザラザラ面には、より砂が付きにくい。
- ・折り曲げても、反発性があるので、土のう袋の中で筒状になって自立します。
- ・なんといっても、プラスチックなので軽くて、持ち運びも便利♪
- ・薄いので収納にも便利♪ちょっとした隙間にも入ります。

### ・材料情報

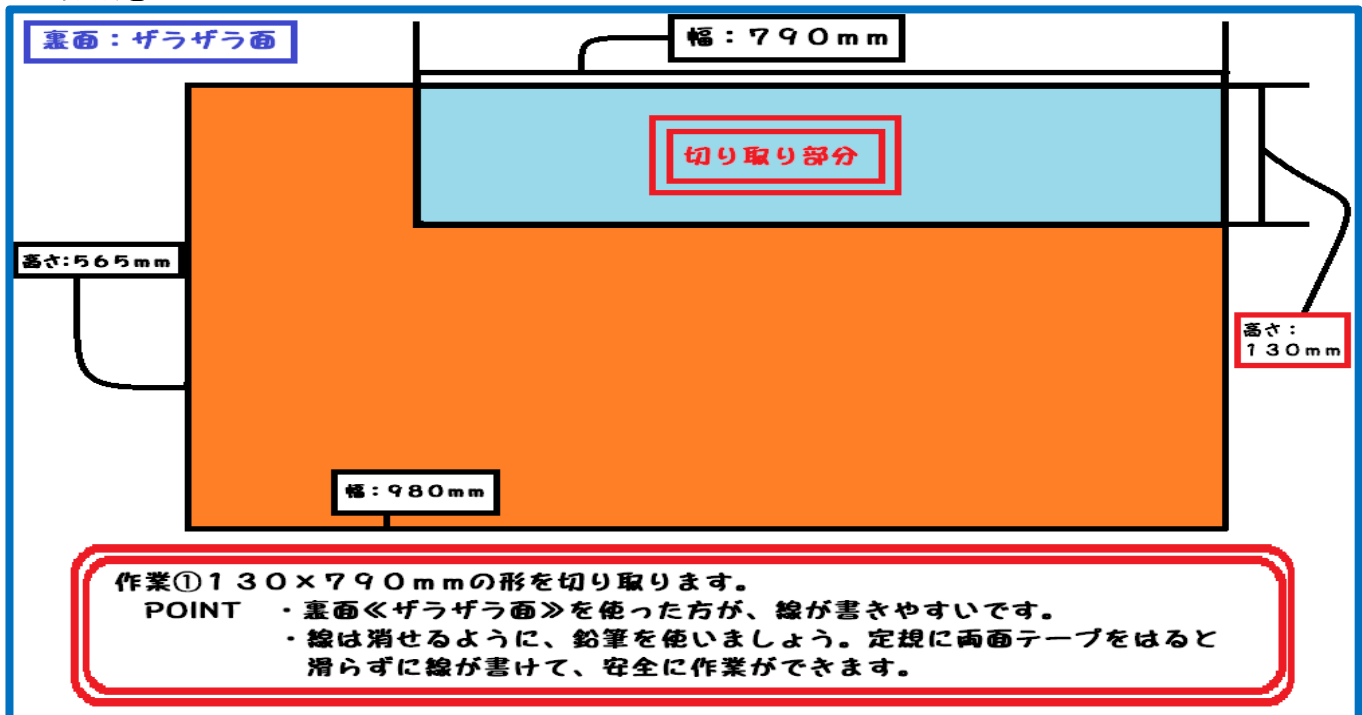
- ・材料名 PPクラフトシート
- ・材質 ポリプロピレン
- ・サイズ 565×980ミリ
- ・厚さ 0.75ミリ
- ※ ホームセンター等で、1枚 1,000円程度で売っています。

### ★「1・2・3」の作り方

・用意するもの

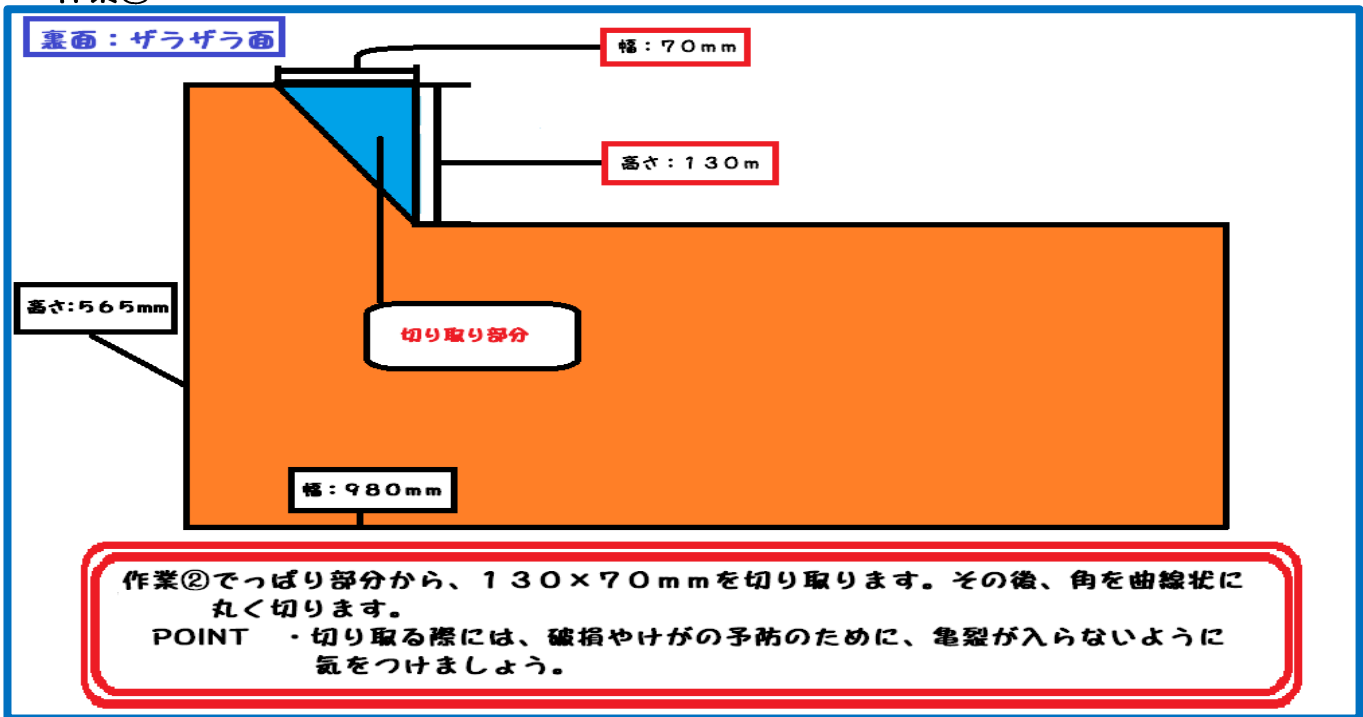
- ・カッター
- ・カッター板
- ・自立つ色のガムテープ
- ・長い定規
- ・両面テープ【定規に両面テープを貼ると、カットする際安全に作業ができます。】
- ・PPクラフトシート【お好きな色を選びましょう。】

・作業①

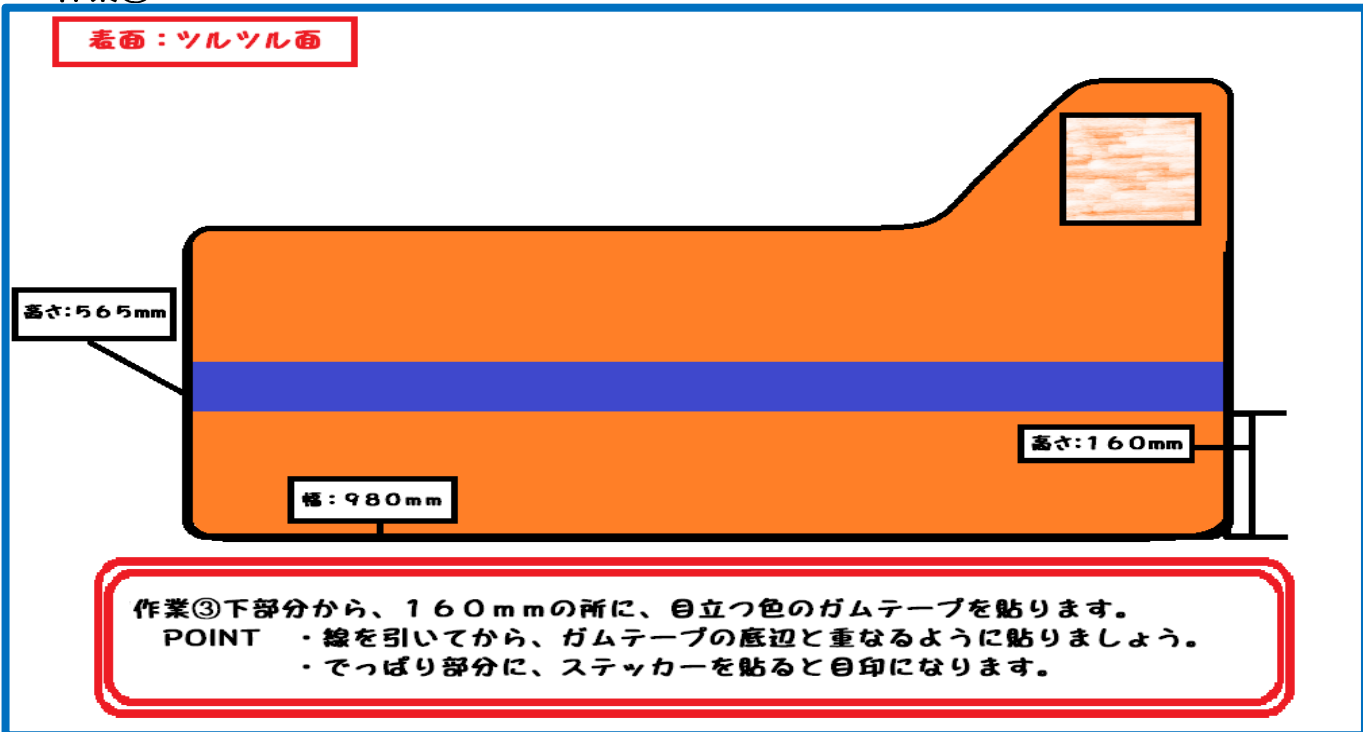


【⇒裏面に続きます！！】

・作業②



・作業③



★「1・2・3」の使用法

- ①ザラザラ面を内側にして丸め、土のう袋の中にしっかり入れます。  
※細く丸めておくと、土のう袋に入れやすくなります。
- ②土のう袋の中に入れたら、手を放します。筒状になり、自立することができます。
- ③砂をガムテープの下ラインまで入れていきます。  
※このラインで止めると、砂量の調整ができるので、適度な重さの土のうが作れます。
- ④下ラインまで砂が入ったら、「1・2・3」のでっぱりを持って、引き抜きます。
- ⑤最後に、土のう袋の口を締めて完成です。

※ ①～⑤の作業を繰り返していきます。

「1・2・3」が皆さんの地域の防災に活かされることを願っております。